

第10回 鳳来北西部地域協議会 会議録（要約）

日 時	令和4年3月15日（火） 午後7時00分～午後8時13分
場 所	玖老勢コミュニティプラザ1階多目的室及び各自宅
出席者	委員 20名 事務局 6名
傍聴人数	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 2 議事 令和4年度地域活動交付金事業の採択について 3 報告事項 (1) 地域協議会アンケート調査について (2) 今後のスケジュールについて (3) 令和3年度地域活動交付金成果報告について 4 その他
<p>1 あいさつ 原田会長よりあいさつ 会議に先立ち、下記の委員を議事録署名人として指名。 【議事録署名人】 『名簿12番』川合新二委員 『名簿15番』門林勝國委員</p> <p>2 協議 令和4年度地域活動交付金事業の採択について ○事務局より審査結果について説明 ・全団体が平均点30点以上で基準点をクリア。 ・同率順位の団体が出てしまったため、来年度は現行の審査基準の見直しを検討。</p> <p>【質疑応答】 特に意見なし</p> <p>【採決】 賛成多数により、全団体に対し満額交付を決定した。</p>	

3 報告

(1) 地域協議会アンケート調査について

○事務局よりアンケート結果を報告。

●地域協議会の開催について

【Q1 事前説明会について】

- ・多くの方から、事前説明会を実施した方がいいという声があった。
- ・新規委員で自由に意見交換ができる時間があるといい。

《対応案》

- ・新規委員及び希望する委員に対し、地域協議会事前説明会の実施。
- ・事前説明会后に、自由に意見交換する場を設ける。

【Q2 地域協議会の回数について】

- ・多くの方が適切と答えた。
- ・分科会については、関係する団体等にも参加してもらってはどうか？
- ・説明の時間が長いので、削減して議論する時間を多くしたい。

《対応案》

- ・予算事業計画等を策定する上で、最低でも今年度開催回数は必要。
- ・会議内で議論する時間を増やす。
- ・事業に関係する人（市担当・事業者など）にも会議に参加してもらい、多くの方の意見を反映させる。
- ・配布資料などは余裕を持って事前に郵送し、各自予習してから参加する。

【Q3 オンライン会議について】

- ・難しいのではとの声が多くあったが、コロナ対策として必要と考える。
- ・オンライン会議ができるよう環境の構築をしていきたい。

《対応案》

- ・なるべく書面決議の回数を減らすために、オンライン会議の導入。
- ・操作に不安のある方には個別で対応し、まずは分科会など少人数で試す。

●地域協議会委員の構成について

【Q4 地域協議会の委員構成について】

- ・いただいた意見の多くが、若い世代・女性をもっと増やすべき、意見を聞くべきという意見であった。
- ・委員の選出については、各地区毎で問題は様々であるため、皆さんからいただいた意見を参考にしつつ、地域協議会内でも委員構成について検討していきたい。

《対応案》

- ・年齢や性別などの偏りがなく、多世代の意見を反映できるようになっているかなどを意識して選出してもらう。
- ・女性が意見しやすい体制を整える。

●地域協議会について

【Q5 地域や市に対する関心が高まりましたか？】

【Q6 地域協議会の活動が地域住民に伝わっていると思いますか？】

- ・地域協議会委員を務めて、地域や地域に対する関心が高まったとの声が多かったが、その一方で、地域自治区の取り組みについては、まだまだ住民に知れ渡っていないという意見が多かった。

《対応案》

- ・地域協議会だより等を活用し、地域住民に活動を周知する。
- ・各委員が地域の声を集め協議会で共有し反映、会合などで活動をPR。
- ・地域住民を巻き込みながら、協力者を増やしていく。

【Q7 あなたが思う地域協議会の1番の課題は？】

- ・地域協議会に対する課題やその課題を解決するアイデアを提案していたため、今後の地域協議会運営の参考にさせていただき、よりよい運営ができるよう改善していく。

●地域計画の推進体制について

- ・地域計画推進についての検討を進めていきたい。検討メンバーについても協議し、来年度検討会を開催する。

●その他

- ・今回のアンケート結果については、ホームページ等で周知していく。

(2) 今後のスケジュールについて

○事務局より、今後のスケジュールについて説明。

- ・令和4年度鳳来北西部地域協議会事前説明会（仮）
令和4年4月12日（火）19時から（玖老勢コミュニティプラザ）
 - ・令和4年度第1回鳳来北西部地域協議会（仮）
令和4年4月19日（火）19時から（玖老勢コミュニティプラザ）
- 都合の悪い方は事務局へ連絡。
交代する委員については、後任に伝えて欲しい。

【質疑応答】

(委員)

協議会委員の任期が2年となっているので、委員選任方法は来年度もこのまま続けるのか。

(事務局)

人選方法については今年度のものを基本的にと考えている。会議の在り方については、アンケートの意見を基に来年度検討する。

(会長)

来年度は、地域自治区制度が始まって10年目の節目となるため、人選方法など、変えられるものがあれば検討したいと思う。

(3) 令和3年度地域活動交付金成果報告について

○事務局より今年度各団体の活動報告書を説明。

- ・新型コロナウイルスの影響で事業を一部中止するなどあったが、3団体が事業を完了。残りの1団体については、今現在実績報告書の提出待ち。
- ・新年度には、市内の地域活動交付金団体の活動報告が掲示されるので、是非ご覧いただきたい。

【質疑応答】

特に意見なし。

4 その他

○次年度の活動に繋げるため、1年の振り返りを行った。

○その他連絡事項

- ・推薦書の提出を各地区長さんに依頼。
- ・地域活動交付金の採択結果は、文書で通知となるため口外しないで欲しい。

石野事務所長のあいさつで終了（20時13分）

地域協議会アンケート調査まとめ

地域協議会の開催について

【Q1】

鳳来北西部地域協議会でも事前説明会を取り入れたほうが良いと思いますか？

そう思う: 8名 ややそう思う: 4名 あまりそう思わない: 8名 そう思わない: 0名

【Q1-2】

協議会に参加する中で、事前に知りたかった内容などがあれば教えてください。

《主な意見》

- ・地域協議会が発足した背景、目的、組織編制、活動内容、地域への効果、そして何ができるのか？
- ・前年度検討されていた協議内容
- ・各分科会で取り組む事業
- ・鳳来北西部地域協議会委員はなにをしたいのか？
- ・事前説明会の後、自由に質問できる時間があるといい。質問が出ない場合は、疑問に思ったことを書面にして第1回地域協議会開催前までに送ってもらい、その質問に対して協議会で答える。
- ・地域自治区予算について理解できていない場面が何回あった。
- ・予算事業計画について（今年度実施される事業、今度検討する事業など）
- ・事前説明会も必要かもしれないが、各地区で交代する委員同士で少しでも引き継ぎができていいかもしれない。 など

【Q2】

地域自治区予算や地域活動交付金などを検討していく中で、会議の回数は適切だと思いますか？

そう思う: 12名 ややそう思う: 5名 あまりそう思わない: 4名 そう思わない: 0名

【Q2-2】

なぜそう思いましたか？会議の回数について感じることや改善すべきことがあれば教えてください。

また、分科会内で今後取り上げたい内容がありましたら、ご記入ください。（自由記述）

《主な意見》

- ・前半に予算事業計画についての協議がもう少しあった方がよかったと思う。
- ・月一回ぐらいのペースが対応しやすい。月に何回も招集されると負担が大きい。
- ・この程度の話し合いの回数は必要だと思う。
- ・分科会については、各分科会の検討する内容に関係する人達を交えて会議を進めていってはどうか？（協議会を理解してもらって進めた方がいいでしょう）
- ・適切だと思ったのは、知らないことが多すぎたから。1年目では、なにもわかりません。
- ・地域協議会の活動内容を事前によく理解していれば、回数を減らしても協議できると思うが、現状では、この位の回数が必要だと思う。
- ・コロナの関係もあって、会議の時間も回数も少ないと思った。もう少し話し合いという時間がとれたらよいと思う。
- ・回数が多いと地域の情報が把握しきれなくなる可能性がある。
- ・説明が長すぎ。議論が少なすぎる。事前に情報を渡し、当日は議論中心にすることで意見も活発化すると思う。コロナの状況もあるが、多くの人の意見を反映させるべき。
- ・地域に出向き、直接対話して、やるべきことを決め、予算付けする。 など

【Q3】

新型コロナウイルス対策として、オンライン会議の導入を検討すべきだと思いますか？

そう思う: 5名 ややそう思う: 3名 あまりそう思わない: 6名 そう思わない: 7名

【Q3-2】

なぜそう思いましたか？下記の項目で当てはまるものにすべてを入れてください。

環境が整っていない(PCやネット回線など) 7名 操作の仕方に不安がある 9名
対面の方が話しやすい 7名 自宅だと家族がいて会議に集中できない 3名
オンラインに抵抗がある 1名 そこまでして会議をしたくない 3名

《その他の意見》

- ・会議用の部屋がない。
- ・高齢化した委員が多数おり、皆がパソコンを使用できるわけではなく、所持していない。今から勉強するのも大変である。
- ・今後必要でしょう。
- ・今後のことを考えれば、環境を整え、出来る人を増やす方法を考えていくべき。

地域協議会の委員構成について

【Q4】

地域協議会委員の委員構成について、適切だと思いますか？

《人数》

「理想 主な意見」

- ・できれば、30～50代が増えることが望ましい。
- ・20代:2名 40代:2名 50代:7名 60代:10名
→若返りを図る
- ・20代:3名 30代:3名 40代:4名 50代:4名 60代:3名 70代以上:3名
→ できれば各年齢層が揃う方がいい。"
- ・20代:5名 30代:5名 40代:5名 50代:5名 60代:5名 70代以上:5名
→ 理想的
- ・若い方（小さい子供さんがいる方）が増えるとよいと思う。
- ・20代:1名 30代:2名 40代:3名 50代:3名 60代:8名 70代以上:4名
→ 若い世代の意見を聞き参考にする
- ・現実には厳しい
- ・20代:4名 30代:4名 40代:4名 50代:4名 60代:6名 70代以上:2名
→ 区長、副区長が多いので、60代が多すぎる
- ・20代:2名 30代:4名 40代:4名 50代:4名 60代:4名 70代以上:2名
→ 60代が多すぎると思う。70代の方は大変。

《男女比》

「理想 主な意見」

- ・男:7 女:3 → 女性の参加人数を増やす方がいいと思う。
- ・地区代表（区長など）が委員になれば難しい。（比率）
- ・男:5 女:5 → 男女平等
- ・男:6 女:4 → 半々が理想とは思いますが、現実的には難しい。
- ・男:5 女:5 → 女性の方が発言しやすい。女性の意見が必要。
- ・女性がもっと増えて、いろいろな意見が聞いてみたい。
- ・半々が理想
- ・男:6 女:4 → 女性の意見を聞く
- ・男:5 女:5

《選出方法》

そう思う:3名 ややそう思う:10名 あまりそう思わない:3名 そう思わない:1名

「理想 主な意見」

- ・年代、男女比も考えるとやはり難しい。地区のことが理解できている人の方が、話し合いがしやすい面もある。しかし、区長・副区長になると、毎年代わる人がほとんど。区長などの代わりに役のない人をたくさん選ぶこともなかなか難しいと思う。
- ・現実としてあて職を中心としてスタートしているのは、仕方ないのだろう。問題意識を持った人々に託していきたい。年齢や男女比は別に関係なく進めてほしい。
- ・こども園や学校の関係者、介護施設の職員、民生委員などを委員に選出。
- ・参加したい人を募集する。
- ・推薦枠を4人にして、男女2名ずつ。各地区の区長・副区長は、委員を2年続けるべき。

【Q4-2】

分科会の委員構成についてご意見がありましたら、ご記入ください。（自由記述）

《主な意見》

- ・各地区の考え方もあると思うので、なかなか難しい。今までの各地区の選出方法についての長短が聞けると今後の選出方法の参考になると思う。
- ・現在の分科会とは別に、各分科会のジャンルに関係のある人を集めた会があれば、分科会の話に進展があるかもしれない。
- ・現状は機械的になっていると思う。
- ・所属する分科会を各自の希望を優先する。その他はくじで決める。

【Q4-3】

その他に委員構成についてのアイデアがありましたら、ご記入ください。（自由記述）

《主な意見》

- ・推薦枠をうまく考慮してもらうこと（各地区）でバランスよくなればうれしいけれど…。
- ・地域の年齢構成の状況を考えると、現在の選出方法は仕方ないように考える。この委員会を下支えする組織（アイデアを提出できる）を充実させる（見つける）ことが、難しいとは思いますが、必要だと思う。
- ・各区長2人（前・新）、民生委員1人、小学校保護者1人、推薦2～3人
- ・積極的な発言のできる方を推薦枠に構成させるといいと思う。
- ・生き活き分科会へ老人クラブの団体がある地域の人をメンバーに入れていただきたい。

地域協議会について

【Q5】

地域協議会に参加して、地域や市に対する関心が高まりましたか？

そう思う: 8名 ややそう思う: 10名 あまりそう思わない: 3名 そう思わない: 0名

【Q5-2】

なぜそう思いましたか？また、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答された方は、どうしたら関心が高まると思いますか？

《主な意見》

- ・自分の知らない分野に参加できたこと。
- ・知らないことがあり、いろいろ関心が高まったこともよかった。
- ・鳳来北西部各地域の人の意見を聞き、自分と同じような考えや生活をしているなど地域協議会を通じて感じとれ、いい交流の場だと思えた。
- ・高齢化に伴い、自分の生活や健康のことで余裕がなく、他のことに目がいけない。
- ・年齢的に感じなくなっていく。
- ・自分の地区だけでなく、地域全体の様子、問題が理解できた。
- ・個々で色々考えていても、行動まではなかなか大変ですが・・・。
- ・話題の中には広報等だけでは知りえない内容（情報）が少しちらばって入っているから。
- ・地元の地域の活動を知らなさ過ぎたと思う。参加してよかった。
- ・全く関心がなかったので、地域で使うことのできるお金があることを知った。生活が豊かになる使い方ができていくとよいと思う。
- ・知らなかったところに気づくことができた。
- ・地域への予算配分は、地域の人々の希望が優先されることを多くの住民に知ってもらうことが大事。
- ・続けて参加して、地域に落とし込みが必要だと感じました。
- ・予算配分の重要性。
- ・力になれているかわからない。
- ・今まで知らなかったお金の話などがわかった。

【Q6】

地域協議会の活動が地域住民に伝わっていると思いますか？

そう思う: 1名 ややそう思う: 4名 あまりそう思わない: 14名 そう思わない: 1名

【Q6-2】

なぜそう思いましたか？また、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答された方は、どうしたらより多くの地域住民に活動が伝わると思いますか？

《主な意見》

- ・地区要望の防犯・防災、道路修繕等生活に密着した事であれば活動が伝わると思うが、個人に関心がない事は、あまり伝わらないと思う。
- ・自分が参加した案件に関して、機会あるたびに説明してきた。
- ・活動を色々な場面を活用してPR！実際に見てもらったり、報告をしたりしてオープンにする。
- ・地区要望書が出てこない、行政は要望が出たらどうしたらできるのかを詳しく説明し、実現に向けてサポートする。
- ・地域協議会だよりを回覧ではなく、各戸へ配布した方がよい。
- ・初期からこの協議会と住民との間に乖離が見られる。
- ・委員が各地区でさらなる活動をしてもらう。
- ・地域協議会に関心を持たない人もいる。1つのお役、活動で関りたくない人もいます。より目にしたり、聞いたりするようにする。
- ・特定の人しか知らないの、回覧板なので知らせてはどうですか？
- ・住民に伝わるようにするには、もう少し時間がかかる。
- ・協議会での検討内容が、委員の個人内で留まっていることが多いと思う。各地区での会合等が少なくなっており、情報伝達がほとんどされないのではないかと。協議会として、そうした伝達の仕組みづくりを考える必要があると考える。
- ・Uターンして数年経ちますが、あまり伝わってなかったと感じます。
- ・自分も委員になるまでは、活動について知らなかった。
- ・住民の話を聞くと、だいぶ伝わってきていると感じる。
- ・メンバーが積極的に住民に話す機会がない。だれが、何をしているのか広報することが必要。
- ・連谷地区は、区長・組長会に出席して、機会あるごとに話をしています。
- ・委員以外関心がない
- ・自分が委員でなかったら、自治区予算について興味はわかかったと思う。
- ・知らない人が多いと聞いたので、地区の集合で活動を詳しく説明していこうと思う。